

目指せストレスフリー！
獲るぞ日本一！
我らが育てた鹿児島黒牛 vol.5

鹿児島県立曾於高等学校 畜産食農科

畜産同好会
肉用牛班

高井田 颯・上村 優一郎
樺木野 晃希・宮原 大和

第7回和牛甲子園出場
に向けたテーマ設定

ストレスフリーに向けた対策 アニマルウェルフェア

R5 テーマ

ハエの駆除

今年のご目標

昨年ハエの成虫駆除を行って大失敗だったので、今年ハエの完全駆除を目指し、幼虫の駆除を行うことにした。

実験方法

1 牛舎内外の現状確認

2 2.5%薬液散布の効果検証

3 100%薬剤の豚糞散布の効果検証

実験1

牛舎内の状況

5月30日



餌や飼槽の縁に無数のハエがとまっている

堆肥舎・堆肥表面

5月30日



堆肥の表面にハエはいたが幼虫はいなかった

堆肥舎・堆肥内

5月30日



牛糞中に幼虫がいる



豚糞中に幼虫がいる

実験2

薬液散布（堆肥舎・牛床）

1 牛糞に2.5%の薬液散布

2 豚糞に2.5%の薬液散布

3 牛床に2.5%の薬液散布

使用薬剤：昆虫発育抑制剤（IGR剤）

薬剤効果

昆虫発育抑制剤（IGR剤）はハエの幼虫の発育を阻害して成虫にさせない薬剤

2.5%薬液作成



バケットの中
で薬液作成

薬液散布日
5月31日

実験2-1

5月31日



堆肥舎の牛糞へ薬液散布

結果2-1 牛糞内

6月7日



幼虫はいなかった

実験2-2

5月31日



堆肥舎の豚糞へ薬液散布

結果2-2 豚糞内

6月7日



幼虫が生きていた

実験2-3

5月31日



牛床へ薬液散布

結果2-3 牛床

6月7日



幼虫は全くいなかった

実験3

薬剤散布（堆肥舎・豚糞）

6月9日

1 豚糞に薬剤を直接散布

実験3

6月9日



堆肥舎の豚糞へ薬剤散布

結果3 豚糞内

6月14日



幼虫は全て死んでいた

実験結果を受け、ハエ駆除を実施

堆肥舎や牛床に2.5%の薬液を2週間から4週間に1度の間隔で散布する。豚糞は堆肥舎に出るたび堆肥と混合し、水分を早めにとばす。

薬液散布の実施日

6月14日, 28日

7月12日, 26日

8月23日

9月20日

10月4日, 18日

観察

牛舎内の状況を確認
6月21日



餌や飼槽, 牛体に少数のハエがとまっている

観察

牛舎内の状況を確認

7月19日



餌や枠に少数のハエがとまっている

観察

牛舎内の状況を確認

8月16日



水分の多い場所に多数のハエがとまっている

観察

牛舎内の状況を確認

9月13日



水分の多い場所に多数のハエがとまっている

観察

牛舎内の状況を確認

10月11日



餌や糞に少数のハエがとまっている

結果

堆肥舎の牛糞や牛床には2.5%の薬液散布が効果あったが、豚糞には効果が薄かった。しかし薬剤を直接散布すると効果があった。コストが高くなるので豚糞が出る度に堆肥を攪拌して薬液を散布することで対処できた。

薬液散布は4週間間隔より2週間間隔の方がハエ駆除に効果があった。

今後の課題

薬剤のコストや散布業務の観点から
薬液散布の場所や適性間隔を調べる
必要がある。

堆肥の切り返しとの関連も調べる必
要がある。

アニマルウェルフェアを常に考える
ことが大事。

R5年度

第7回出品牛選定

選定方法

1 体重による判定

2 超音波肉質診断による判定

3 個体観察等による判定

出品牛決定



りんか号



輝星号

りんか 号



華忠良×秀幸福×安福久

R3.4.25生

輝星号



光金豊×安福久×金幸

R3.8.4生



ご清聴ありがとうございました